

授業改善プラン

教科（ 社会 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは太字

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
1 年 生	知識・技能	毎時間の小テストを実施することで前時の内容の確実な定着や多面的、多角的な視点を身に付ける	毎時間小テストをする習慣が付き、授業開始前に復習している様子が見られる。家庭でも継続した学習を促す。	小テストを継続するとともにアダプティブ教材で自学自習できる環境を整える。		
	思考力・判断力 表現力	学習課題の解決に必要な情報を地図や写真等の資料から取り出し、社会課題を多角的多面的に考察できるようにする。	写真、統計資料などを提示し、友人と対話しながら情報を取り出し、多面的多角的に問題解決できるようにした。	写真や統計資料を精選し、情報を読み取った後の対話が活発になるようにする。		
	主体的に学習に 取り組む態度	地理や歴史の事象への関心が高まる教材を提示し、学習課題に主体的に学習に取り組めるようにしていく。	地理や歴史の学習課題と身近な話題を関連させることで、主体的に学習できるよう工夫できた。	学習課題を身近な内容と関連させ、学習内容に主体的に取り組めるようにする。		
2 年 生	知識・技能	基本的な内容の定着に向け、授業内での振り返りや小テストを継続するとともに、家庭でのアダプティブ教材の活用を促していく。	小テストに向けて学習している生徒がいる。定期考査前のアダプティブ教材を活用している生徒がいる。	小テストやアダプティブ教材を設定し、自学自習環境を整え、知識定着を図る。		
	思考力・判断力 表現力	統計資料や図から必要な情報を取り出せるように主題や項目に着目できるように具体的に指示し、資料への着目点を自分で見つけられるようにしていく。	統計資料や図を提示し、主題にあった情報から友人との対話で学習課題を多面的多角的に解決できるようにした。	資料を精選し、資料への着目点を自分で見つけ、友人との対話へ繋がれるようにする。		
	主体的に学習に 取り組む態度	身近な話題や身の回りの物の映像や写真などから学習課題へ展開するとともに、学習課題から身近な問題解決へと思考をつなげることで主体的に学習に取り組む態度を養う。	身近な話題や身の回りの出来事と関連させることで自分とのつながりを意識し、主体的に学ぶ態度を養った。	学習課題と関連した身近な話題から授業を始めることで主体的に学習に取り組めるようにしていく。		
3 年 生	知識・技能	小テストだけでなく、様々な種類の問題演習することで知識の定着を図っていく。	小テストで様々な問題形式を経験することで、幅広く知識が定着できるようにした。	アダプティブ教材を復習課題として設定し、個々に合わせた学習環境を整える。		
	思考力・判断力 表現力	統計資料や図版から必要な情報を読み取れるよう、多くの種類の資料に触れる機会を設定していく。	統計資料や図版から読み取った情報から友人との対話することで学習課題を解決できるような様々な資料を提示した。	提示する資料を精選し、対話を重ねて課題を解決できるよう工夫していく。		
	主体的に学習に 取り組む態度	八丈島や生活に身近な資料を導入として学習課題に迫ることで歴史分野や地理分野から社会の課題を考えられるようにする。	学習内容が八丈島や生活の課題の解決につながることを意識できるように学習課題を設定し、対話による課題解決できるようにした。	身近な話題と学習課題を関連させることで、現代社会の課題解決に向けて主体的な学習に向かうことができるようにする。		

カリキュラムマネジメントの視点から